

### みやこ町 ①基礎情報

#### 人口推計

2015年 2020年 2025年 2030年 2035年 2040年 2045年

0~14歳 15~64歳 65~74歳

高齢化率

37.5% 42.1% 44.7% 46.0% 47.8% 50.2% 51.9%

2015年 2020年 2025年 2030年 2035年 2040年 2045年

0~14歳 15~64歳 65~74歳

高齢化・人口減少が急速に進む。

### 世帯

#### 高齢世帯割合

一般/全世帯 65歳以上の世帯員がいる核家族世帯/全世帯 高齢未婚世帯/全世帯

高年齢(及び独居)世帯が多い。

### 医療施設・医療従事者

#### 医療機関数割合 (人口1000人当たり)

一般診療所数 歯科診療所数 医師数 歯科医師数 薬剤師数

医療機関等が少ない。

### 人口1000人当たり病床数

みやこ町 (8.6床/千人)

### 介護

#### 血管疾患の観点でみた要介護者の有病状況 (平成28年度)

年齢区分	男				女				合計
	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55歳以上	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55歳以上	
要介護者数(全体)	23	110	1,271	1,381	1,404	1,292	1,292	1,292	1,404
要介護認定者	14	84	1,194	1,278	1,278	1,278	1,278	1,278	1,278
要介護認定者/要介護者	60.9%	76.4%	93.2%	92.5%	92.5%	92.5%	92.5%	92.5%	92.5%

要介護認定者の有病状況をみると、筋・骨格疾患が94.0%と高い。

### 平均寿命と健康寿命

#### 平均寿命

性別	全国	みやこ町	福岡県
男性	79.6	78.7	79.3
女性	86.4	86.6	86.5

男性の平均寿命・健康寿命とも国・県より短い。

#### 健康寿命

性別	全国	みやこ町	福岡県
男性	65.2	64.6	65.2
女性	66.8	66.9	66.9

### 死因

死因では、新生物・循環器疾患が多い。

### 食生活

#### 平成28年度国民健康栄養調査 (都道府県別結果)

福岡県は、全国に比べて塩分摂取量が多い。

### 健康づくりに関するアンケート調査

#### 運動習慣 (問診項目)

項目	H26	H27	H28
1回30分以上の運動習慣	60	60.8	60.4
1日1時間以上の運動習慣	49.4	51.3	53
生活習慣改善意思	8.1	7.4	8.9
取組6か月未満	16.3	19.4	17.7

### ②特定健診・がん検診

項目	みやこ町			福岡県		
	H26	H27	H28	H26	H27	H28
特定健診受診率	44.3%	46.1%	46.7%	31.4%	31.6%	32.3%
メタボ該当者率	16.9%	17.8%	19.7%	16.0%	16.3%	17.0%
予備群該当者率	11.2%	12.9%	12.5%	11.2%	11.2%	11.2%
特定保健指導実施率	88.0%	90.8%	96.1%	34.4%	36.9%	36.6%
対象者割合	積極的	2.3%	2.6%	2.3%	3.1%	2.9%
	動機付け	8.0%	8.9%	8.9%	9.2%	9.2%
腹囲	32.1%	34.5%	35.2%	31.2%	31.5%	32.2%
BMI	5.2%	4.8%	4.5%	4.0%	4.0%	4.0%
血糖	0.7%	0.6%	0.8%	0.6%	0.7%	0.7%
血圧	7.9%	10.4%	9.4%	7.8%	7.8%	7.7%
脂質	2.7%	2.0%	2.3%	2.8%	2.7%	2.7%
血糖・血圧	2.8%	3.1%	3.7%	2.5%	2.6%	2.7%
血糖・脂質	0.5%	0.5%	0.6%	0.8%	0.8%	0.9%
血糖・血圧・脂質	9.4%	9.4%	10.1%	8.3%	8.2%	8.4%
受診勧奨者医療機関受診率	51.7%	59.4%	59.1%	52.7%	53.8%	53.1%

※福岡県と比較して数値が高いデータを赤字にしている。

受診率	肺がん	胃がん	大腸がん	子宮がん	乳がん
福岡県	8.5%	6.2%	11.9%	27.4%	25.5%
みやこ町	12.4%	9.5%	14.4%	16.6%	24.0%

特定健診受診率は高い。(県内7位)  
特定健診受診者の「腹囲」「血糖・血圧・脂質」等のリスク保有者が多い。

### ③医療費・疾患

#### 外来医療費

順位	分類名
1	25その他の内分、安楽及び代謝障害
2	25その他の内分、栄養及び代謝障害
3	24糖尿病
4	42その他の眼及び付属系の疾患
5	52その他の心疾患
6	42その他の眼及び付属系の疾患
7	19その他の悪性新生物
8	88炎症性多発性関節障害
9	15乳癌の悪性新生物
10	84その他の消化器系の疾患

#### 外来レセ数

順位	分類名
1	50高血圧性疾患
2	25その他の内分、安楽及び代謝障害
3	19その他の悪性新生物
4	84その他の消化器系の疾患
5	42その他の眼及び付属系の疾患
6	52その他の心疾患
7	129その他 (上記以外のもの)
8	84その他の消化器系の疾患
9	90腎臓障害 (腎臓症を含む)
10	77胃炎及び十二指腸炎

#### 入院医療費

順位	分類名
1	28統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害
2	19その他の悪性新生物
3	29気分(感情)障害 (うつ病を含む)
4	52その他の心疾患
5	89関節症
6	115骨折
7	99腎不全
8	71慢性リンパ腫
9	51虚血性心疾患
10	55糖尿病

#### 入院レセ数

順位	分類名
1	28統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害
2	29気分(感情)障害 (うつ病を含む)
3	19その他の悪性新生物
4	84その他の消化器系の疾患
5	52その他の心疾患
6	89関節症
7	51虚血性心疾患
8	115骨折
9	99腎不全
10	129その他の (上記以外のもの)

高血圧・糖尿病・脂質異常症は血管変化を起こす原因となり、重症化すると心血管疾患を引き起こす。

### 生活習慣病の発症者数

全体	脳血管疾患	虚血性心疾患	糖尿病性腎症	高血圧症	糖尿病	脂質異常症
2,502人	263人	352人	1,551人	701人	1,222人	1,222人
	10.5%	14.1%	61.0%	28.0%	48.8%	48.8%
高血圧	201人	218人	17人	—	503人	84人人
	76.4%	61.0%	72.8%	—	72.8%	70.9%
糖尿病	113人	139人	22人	503人	—	417人
	43.0%	39.5%	100.0%	32.6%	—	34.4%
脂質異常	170人	229人	11人	848人	417人	—
	64.6%	65.1%	50.0%	55.0%	59.9%	—

脳血管疾患・虚血性心疾患・糖尿病性腎症の基礎疾患として、高血圧が多い。

#### 【要支援・要介護認定の原因疾患数】

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
38	100	48	20	15	27	12
33	104	37	10	13	7	6
86	43	33	38	15	4	7
57	20	17	13	6	0	8
40	20	11	13	5	1	1
42	12	9	13	2	0	2
38	7	10	19	3	0	0
合計	332	314	165	142	56	45

要支援1、要支援2認定者の3分の1以上が筋骨格系疾患が原因となっている。

### 脳血管疾患・虚血性心疾患・糖尿病性腎症の基礎疾患として、高血圧が多い。

#### 生活習慣に関連する疾患の点数構成比及びレセ発生率

脳血管疾患の点数構成比、レセプト発生率は低い。

### 男女・年代別骨折医療費

骨折医療費は65歳以上女性の占める割合が高い。

#### 【要支援・要介護認定の原因疾患数】

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
38	100	48	20	15	27	12
33	104	37	10	13	7	6
86	43	33	38	15	4	7
57	20	17	13	6	0	8
40	20	11	13	5	1	1
42	12	9	13	2	0	2
38	7	10	19	3	0	0
合計	332	314	165	142	56	45

#### ロコモティブシンドローム関連疾患

対象疾患	医療費(円)	割合(%)
変形性膝関節症	118,459,473	33.6%
変形性股関節症	39,812,538	10.3%
変形性足関節症	12,182,310	3.3%
変形性手関節症	28,314,133	7.8%
変形性肘関節症	19,547,968	5.4%
変形性肩関節症	4,846,776	1.3%
変形性腰関節症	6,144,799	1.7%
変形性指関節症	2,032,567	0.6%
変形性趾関節症	5,033,805	1.4%
変形性腕関節症	544,559	0.1%
変形性手関節症	0	0.0%
変形性足関節症	0	0.0%
変形性肘関節症	1,713,155	0.5%
変形性肩関節症	1,831,614	0.5%
合計	350,000,000	100.0%

ロコモティブシンドローム関連疾患のうち骨粗鬆症が16.5%を占める。変形性膝関節症は、33.6%を占めている。

# 健康寿命の延伸

男性:平均寿命78.7歳 健康寿命64.6歳 平均寿命と健康寿命の差14.1歳  
 女性:平均寿命86.8歳 健康寿命66.9歳 平均寿命と健康寿命の差19.9歳

- 特定健診受診率: 46.7% (県内7位)
- 特定保健指導実施率: 96.1% (県内1位) (H28年度)

## 心疾患が多い

- ・ 虚血性心疾患の外來患者件数が県内1位となっている。
- ・ また、**循環器系の疾患**が死因の第2位となっている。

## 筋・骨格疾患が多い

- ・ 入院医療費の5、6位を**関節症、骨折**が占めている。
- ・ 要介護認定者の筋・骨格疾患の有病状況が非常に高くなっている。  
 65歳～74歳: **84.5%** 75歳以上: **94.9%**

### 高血圧

医療費構成割合  
5.74%(町全体1位)  
健診の血圧における有所見者が多い  
血圧 H26: 7.9%(県は7.8%)  
H27: 10.4%(県は7.8%)  
H28: 9.4%(県は7.7%)

### フレイル

医療費構成割合(入院)  
関節症: 4.90%(町入院5位)  
骨折: 4.24%(町入院6位)  
レセプト件数構成割合(入院)  
関節症: 3.64%(町入院6位)  
骨折: 3.26%(町入院7位)

・ 高齢化率: 37.5% (2045年: 51.9%)

犀川地区	42.2%
勝山地区	34.3%
豊津地区	36.5%

・ 介護認定者の割合  
要支援・要介護認定の原因疾患数のうち、要支援1及び2における原因疾患の第1位が**筋骨格系疾患**となっている。

・ 65歳以上の女性における骨折医療費の割合が高い

### 脂質異常症

医療費構成割合  
5.08%(町全体4位)

### 糖尿病

医療費構成割合  
5.72%(町全体2位)

### 喫煙

12.0%(H27)  
(健康増進計画より)

### 飲酒

25.1%(H27)  
(健康増進計画より)

### 運動状況

(健康増進計画より)

- ・ 1日30分以上運動している方 39.2%(H27)
- 目標値 50.0%以上

### BMI(健診結果より)

- ・ メタボ該当者率 16.9%(県16.0%)→19.7%(県17.0%)
- H26→H28は2.8ポイント増加
- ・ BMIの有所見者割合 5.2%(県4.0%)→4.5%(県4.0%)
- ・ BMIの有所見者割合 32.1%(県31.2%)→35.2%(県32.2%)

### 30代健診結果(平成25年度)

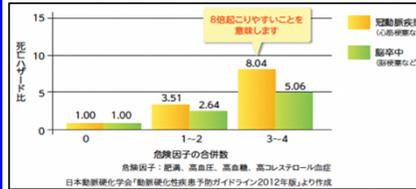
- (みやこ町健康増進計画より)
- ・ BMI25以上の方: 50%(男性)
  - ・ 腹囲85cm以上の方: 45.5%(男性)
  - ・ LDLコレステロール有所見者: 54.5%(男性)

### 世帯状況

- (e-stat 統計でみる日本より)
- ・ 高齢化率が高く、人口減少が進行。
  - ・ 福岡県と比較して、高齢(及び独居)世帯の割合が高い状況にある。
- <高齢世帯割合>
- ・ 65歳以上の世帯員がいる核家族世帯: 33.1%(県は20.5%)
  - ・ 高齢夫婦世帯: 18.3%(県は10.7%)

## エビデンス

メタボリックシンドロームとは、「内臓脂肪型肥満を共通の要因として、血糖高値、脂質異常、血圧高値を呈する病態」です。「虚血性心疾患、脳血管疾患等の発症リスクが高く、内臓脂肪を減少させることでそれらの発症リスクの低減が図られます」(※1)。内臓脂肪型肥満の判定は腹囲で行い、BMIで肥満ではない方も該当する場合があります。



内臓脂肪が蓄積すると他のリスク(血糖・脂質・血圧の異常)も起こりやすくなります。そして、これらのリスクの数が増えるほど動脈硬化が進行しやすく、脳卒中や心疾患などの疾患を引き起こしやすくなります。(※2)

また、みやこ町では、高血圧の方が多くですが、もちろん高血圧だけでも放置し進行すると脳卒中や心疾患のリスクが高まります。(※3)

加えて、高血圧は腎臓にも負担をかけ、その結果腎臓の細胞(糸球体)が破壊されると腎機能(体液をろ過し老廃物を体外に排出)が低下し、体液の増加やホルモンの影響でますます血圧が上がるという悪循環に陥ります。(※4)



骨粗鬆症は骨折の最大の危険因子と言われています。大腿骨近位部骨折の発生率のグラフからも分かる通り、骨粗鬆症は女性に多く年々増加傾向にあります。(※5)

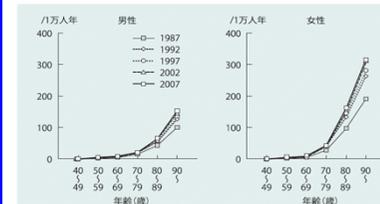


図4 大腿骨近位部骨折の性・年代別発生率とその推移

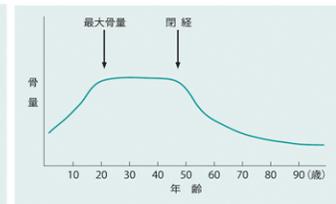


図5 骨量の経年的変化

女性の骨量は閉経後の10年で急激に減少します。これには女性ホルモンが影響しており、加齢によって骨折しやすい状態になっていきます。中高年者において骨粗鬆症を予防するためには、適正体重の維持と痩せを防止し、歩行を中心とした運動の日常の実施が推奨されています。(※5)

<引用・参考>

- ※1…標準的な健診・保健指導プログラム(改訂版)(厚生労働省)第2編 第1章 メタボリックシンドロームに着目する意義
- ※2…スマート・ライフ・プロジェクト(厚生労働省)生活習慣病を知ろう! 肥満・メタボリックシンドローム <http://www.smartlife.go.jp/disease/obesity/>
- ※3…スマート・ライフ・プロジェクト(厚生労働省)生活習慣病を知ろう! 高血圧 <http://www.smartlife.go.jp/disease/pressure/>
- ※4…腎臓機能低下と高血圧 <https://www.kyowa-kirin.co.jp/ckd/hypertension>
- ※5…骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015年版

## 【データからみるみやこ町の特徴】 仮説：高齢化や肥満が高血圧や筋骨格系疾患の要因となっているのではないかな？

みやこ町は、特定健診受診率及び特定保健指導実施率が県内上位に位置している。

特定健診結果からメタボリックシンドローム該当者が多く、県の平均と比較しても高い状況にある。また、30歳代健診の結果においても男性のメタボリックシンドローム該当者の割合が多くなっており、継続して実施できる運動習慣を身につける事が必要である。

虚血性心疾患の基礎疾患として8割以上の人が高血圧を有している。また、みやこ町の高齢化率は37.5%となっており、人口推計では2045年には51.9%に上昇するとされている。高血圧の要因の一つに加齢もあり、若年から高血圧への対策を行うことにより、重症化を防ぐことが重要である。

要介護認定者における要支援1、2の原因疾患が筋骨格系の疾患で1位となっている。入院医療費についても5位、6位を関節症・骨折が占めており対策が必要である。今後さらに高齢化が進むことから、筋骨格系疾患の予防のための取組として、ロコモ・フレイル対策につながる運動習慣等の改善を図る必要がある。

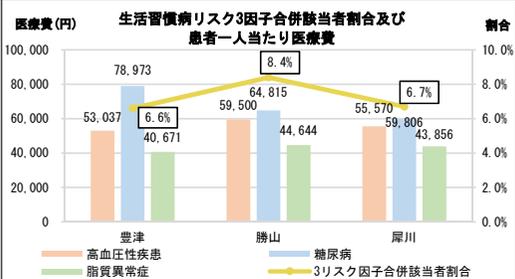
データからみるみやこ町の健康課題

メタボ・高血圧・筋骨格系疾患

仮説：高齢化や肥満が高血圧や筋骨格系疾患の要因となっているのではないか？

①肥満（生活習慣病のハイリスク因子）

(A・B・D)



※3因子合併該当者…血圧・血糖・脂質のすべての項目が保健指導判定値以上である者。(KDBデータ)

①生活習慣病リスク3因子該当者数及び割合

「勝山」…生活習慣病リスク3因子合併該当者割合は8.4%と3地区中1位。高血圧性疾患および脂質異常症の患者一人当たり医療費は3地区中1位。  
「豊津」…糖尿病の患者一人当たり医療費は3地区中1位。

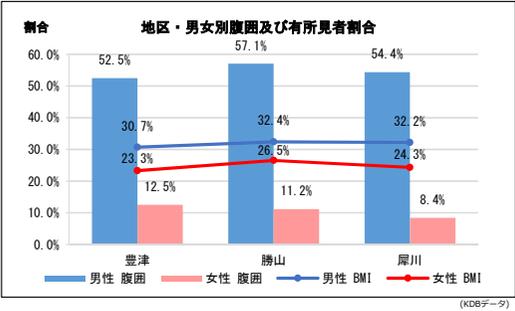
【特定健診結果より】

「勝山」…男性の腹囲、男女BMIにおいて、3地区中1位。  
「豊津」…女性の腹囲の有所見者割合が3地区中1位。

・男女別では、腹囲及びBMIともに、有所見者の割合は女性より男性の方が高い。

☆生活習慣病リスク3因子は、1つだけ数値が高いだけでも危険だが、2つ3つと要因が重なるとさらに危険性が増し、動脈硬化が進行しやすく脳卒中や心疾患のリスクが高まる。連鎖が重ならないように食生活や運動の取組が必要である。

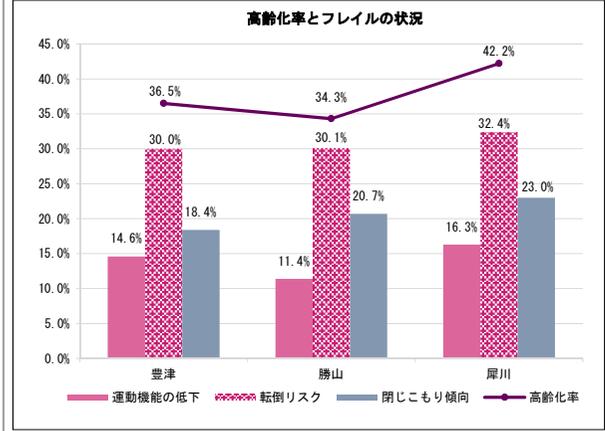
上記より、生活習慣病リスク3因子合併該当者が高く、腹囲・BMI有所見者割合の高い「勝山」は、A:脱メタボ対策事業、B:家庭血圧測定の推進、D:高血圧予防のための減塩推進の優先地区とする。



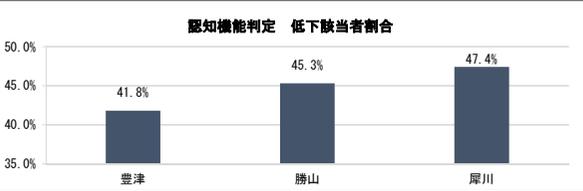
(KDBデータ)

②高齢化・フレイル

(C)



※転倒リスク：直近1年で1回以上転倒したと回答した割合。閉じこもり傾向：外出が週1回以下と回答した割合。(平成29年度介護予防・日常生活支援総合事業調査)



②高齢化率とフレイルの状況

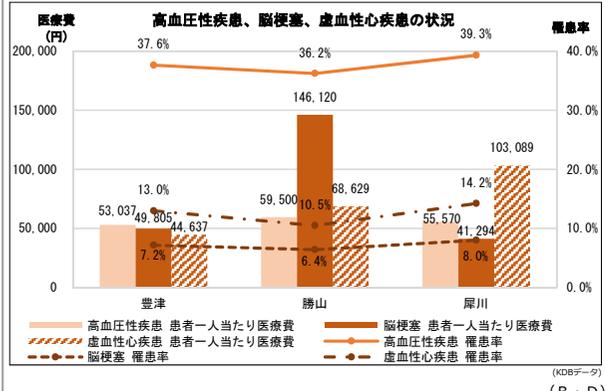
「犀川」…高齢化率が42.2%と3地区中1位であり、運動機能の低下、転倒リスク、閉じこもり傾向、認知機能判定における低下該当者がいずれも3地区中1位。

☆フレイルは「身体的」「精神的」「社会的」要素が重なり発生する。3地区とも高齢化率が高く、転倒リスクも30%を超えていることから、介護予防及びフレイル対策が必要と考えられる。特に犀川地区は、高齢化率が高く、運動機能の低下、転倒リスク、認知機能、閉じこもりの要素が全てにおいて該当する。

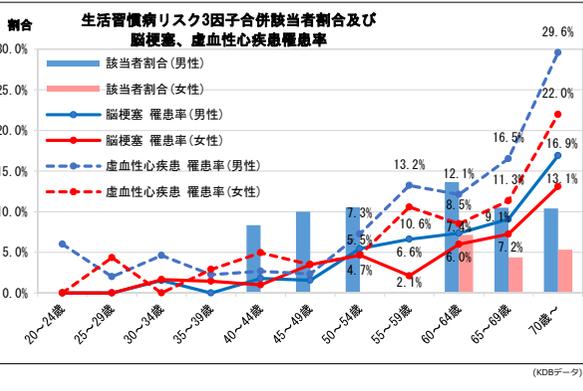
上記より、「犀川」はC:サロンのコラボ(サロン参加と運動の継続支援)の優先地区とする。

④高血圧と関連疾患

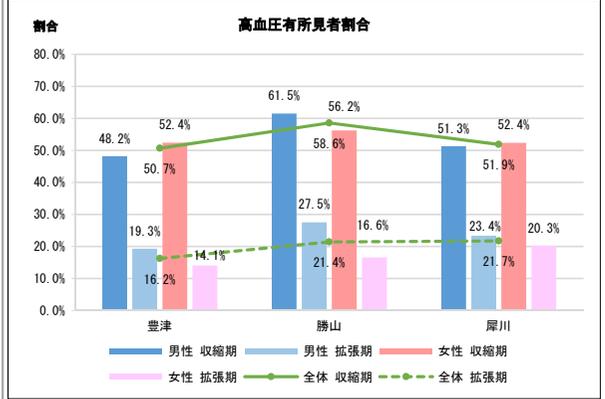
(B・D)



(KDBデータ)



(KDBデータ)



(KDBデータ)

④高血圧と関連疾患

特定健診結果より

「勝山」…収縮期血圧の有所見者割合は男性61.5%、女性56.2%と男女ともに3地区中1位。

・豊津地区、勝山地区、犀川地区の収縮期血圧の半数以上が有所見者となっている。

医療費分析より

「勝山」…脳梗塞の患者一人当たり医療費は146,120円と3地区中1位。  
高血圧性疾患の罹患率は36.2%、高血圧性疾患の患者一人当たり医療費が59,500円と1位。  
「犀川」…高血圧性疾患の罹患率が39.3%と3地区中1位。  
虚血性心疾患の罹患率(14.2%)及び患者一人当たり医療費(103,089円)と3地区中1位。

・虚血性心疾患、脳梗塞の罹患率は男女ともに55歳から上昇している。また、55歳以降男性の罹患率が高い。

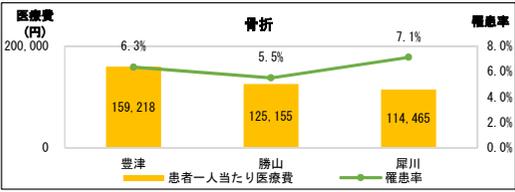
・3リスク因子合併該当者割合は、男性の方が高くなっている。

・また、町全体で見ても、生活習慣病リスク3因子合併該当者割合、虚血性心疾患、脳梗塞の罹患率の高い男性への早期からの介入が必要と考えられる。

上記より、「勝山」「犀川」地区はB:家庭血圧測定の推進、D:高血圧予防のための減塩推進の優先地区とする。

③筋骨格系の疾患

(C)



(KDBデータ)

③筋骨格系疾患の状況

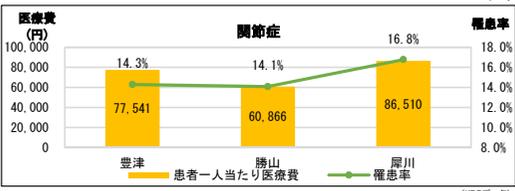
「犀川」…筋骨格系疾患(骨折、関節症、骨の密度及び構造の障害)の患者一人当たり医療費及び罹患率は3地区中1位。

・みやこ町のロコモティブシンドローム関連疾患の医療費は118,459,473円となっている。骨折の医療費は、65歳以上の女性の割合が大きい。

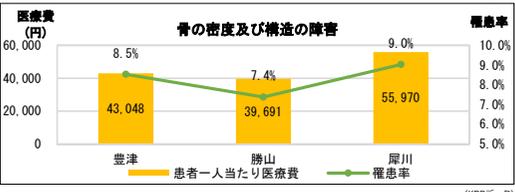
☆ロコモティブシンドロームは、原因として、加齢に伴う変形性関節症、骨粗鬆症に伴う円背、易骨折性などの運動器疾患による痛み、関節可動域制限、筋力低下などがあげられ、バランス能力や移動能力の低下をきたす。

☆骨や筋肉には適度な運動や生活活動で刺激を与え、適切な栄養を取ること強く丈夫に維持される。(日本整形外科学会)

上記より、「犀川」では、筋骨格系疾患の有病者が多く高齢率も高い。他地区と比較しフレイルの傾向が高いと認められた為、C:サロンのコラボ事業の優先地区とする。



(KDBデータ)



(KDBデータ)

